

なぜ?なぜ?
ふむ!ふむ!

「田んぼの生きもの調査」って、何?

高生連 田んぼの生きもの調査プロジェクト

どんなふうにやるの……?



まずは田んぼの生きもの達の、生活環境の調査を
やります。

計測器を使って、田んぼの水の状態や土の状態を
色々な角度から調べます。



次に、田んぼの土を採取
します。

土の中に居る生きもの
の種類や量を調べる為です。

採取した土をパレットに広げ、土の中に居る生きもの
の種類や量をカウントしていきます。



田んぼの中や周辺に
は、どんな生きものが
いるかを調べます。



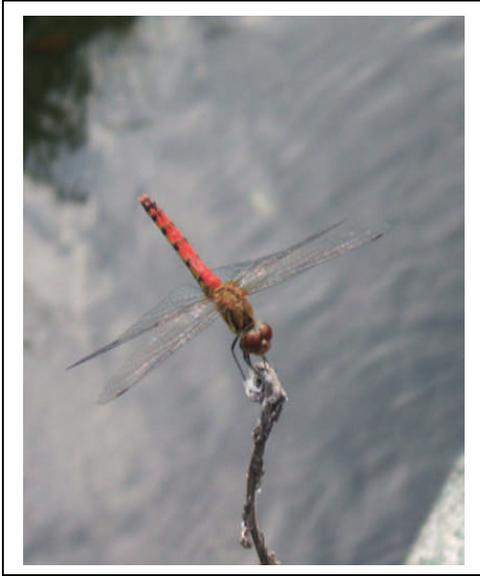
田んぼの用水路にも網を仕掛けてみます。
用水路は、生きもの達にとって川と田んぼをつなぐ
道。色々な生きものが行き来しているからです。

なぜ?なぜ?
ふむ!ふむ!

「田んぼの生きもの調査」 って、何?

高生連 田んぼの生きもの調査プロジェクト

どんなことがわかるの……?



田んぼには、生きもの達がたくさん居ること。
生きもの達は、互いに食べたり、食べられたりしながらつながり合っていること。
水の中で暮らしていたヤゴが、トンボになって空を飛ぶこと。
オタマジャクシのようなカエルも、カエルのようなオタマジャクシも居ること。
クモの巣を張って獲物が掛かるのを待つクモもいれば、ハンターとして獲物を追うクモもいること。…等々。

そして、

田んぼの生きものを調査したり、観察することは面白いこと、楽しいこと、感動すること。

ご飯を食べる時、田んぼのことや生きもの達のことが目浮かぶこと。

ご飯に手を合わせたくなること。…等々。



生きもの達は、稲の生育にも大きな影響を与えていること。

逆に稲の作り方によって、生きものたちは大きな影響を受けること。…等々。

でも、まだまだわからないことだらけです。

田んぼの生きもの調査や観察会を、いっしょにやってみませんか?



なぜ?なぜ?
ふむ!ふむ!

「田んぼの生きもの調査」って、何?

高生連 田んぼの生きもの調査プロジェクト

どうしてやるの……?

毎年たくさんの種類の生きものが絶滅していっている中、生きもの達の楽園である田んぼの実態を知っておきたいからです。

田んぼ（米）の作り方で、生きもの達の世界がどう変化するのか知りたいからです。

田んぼの生きもの達と共存し、助け合う米作りのやりかたを模索するためです。

田んぼを身近な自然環境として、もっと見直すべきだと思うからです。



“米離れ”“米余り”で、田んぼの存続があやういからです。

赤とんぼの乱舞やカエルの合唱を、そして田んぼの美しい風景を失いたくないからです。

田んぼの生きもの達とふれあうことで、田んぼを、お米を、もっと新鮮に、もっと身近に感じて欲しいからです。



“お米を食べることが田んぼを守り、田んぼの生きもの達を元気にする”という当たり前の事を、もう一度私たちの常識にし直したいからです。



そんなことを、生産者や消費者の立場を超えて、いっしょに考えていきたいからです。